

令和5年度第3年次編入学試験（推薦による入学者の選抜） 口頭試問（コンクリート工学）

工学部工学科社会基盤工学プログラム

【出題概要】

- 設問(1) コンクリートの乾燥収縮について出題した。
- 設問(2) コンクリートの乾燥収縮と自己収縮の関係について出題した。
- 設問(3) コンクリートの自己収縮の生じやすいコンクリート条件について出題した。

【出題意図】

- 設問(1) コンクリート乾燥収縮について正しく理解しているかを見る問題である。
- 設問(2) 乾燥収縮と自己収縮の性質や関係性についての理解度を問う問題である。
- 設問(3) 自己収縮における基礎事項を問う問題である。

令和5年度第3年次編入学試験（推薦による入学者の選抜） 口頭試問（応用力学）

工学部工学科社会基盤工学プログラム

【出題概要】

- 設問(1) 応用力学(構造工学)から、トラスの弦材軸力について出題した。
- 設問(2) 応用力学(構造工学)から、トラスの垂直材軸力について出題した。
- 設問(3) 応用力学(構造工学)から、冗材の役割について出題した。

【出題意図】

- 設問(1) トラスの弦材の役割を理解し、軸力の正負を正しく認識しているかを見る問題である。
- 設問(2) 節点法によるトラスの部材力計算の理解度を問う問題である。
- 設問(3) 冗材の力学的意義に関する理解度を問う問題である。

令和5年度第3年次編入学試験（推薦による入学者の選抜） 口頭試問（地盤工学）

工学部工学科社会基盤工学プログラム

【出題概要】

- 設問(1) 地盤工学から、土の基本物理量について出題した。
- 設問(2) 地盤工学から、密度情報と間隙比の関係について出題した。
- 設問(3) 地盤工学から、相対密度と乾燥密度の関係について出題した。

【出題意図】

- 設問(1) 土の基本物理量の定義を正しく理解しているかを問う問題である。
- 設問(2) 土の基本物理量相互の関係を理解しているかを問う問題である。
- 設問(3) 砂の相対密度の定義を理解し、最大、最小間隙比に対応する乾燥密度の誘導について問う問題である。

令和5年度第3年次編入学試験（推薦による入学者の選抜） 口頭試問（水理学）

工学部工学科社会基盤工学プログラム

【出題概要】

- 設問(1) 水理学における静水圧の基礎から、浮心に関して出題した。
- 設問(2) 水理学における静水圧の基礎から、浮体の安定性条件に関して出題した。
- 設問(3) 水理学の基礎から、流れの基礎方程式について出題した。
- 設問(4) 水理学の基礎から、水の粘性について出題した。

【出題意図】

- 設問(1) 静水圧の基礎における浮心に関する理解度を問う問題である。
- 設問(2) 静水圧の基礎における浮体の安定性条件に関する理解度を問う問題である。
- 設問(3) 流れの基礎方程式に関する理解度を問う問題である。
- 設問(4) 水の粘性に関する理解度を問う問題である。